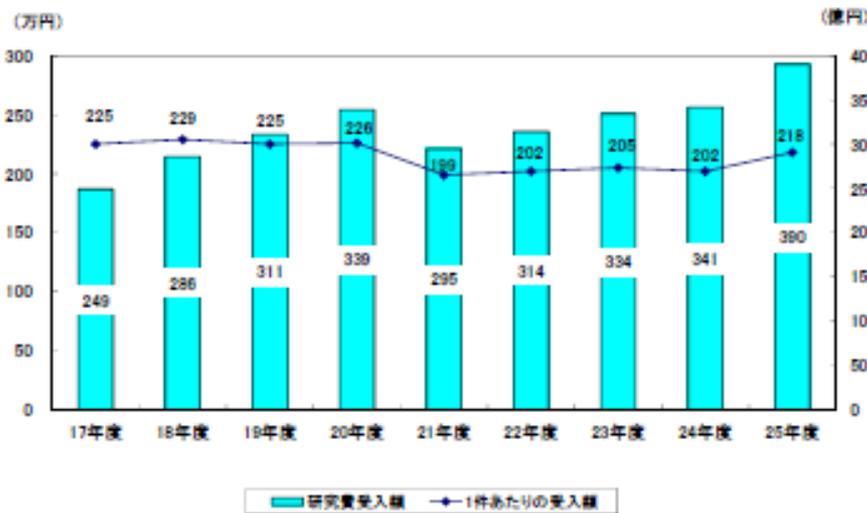


# 4. 産業界と大学との連携強化（2）

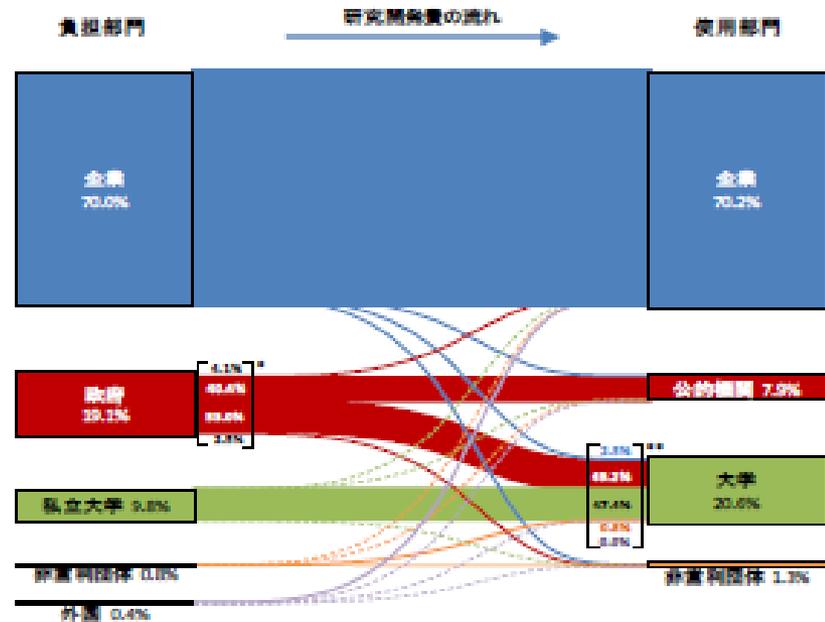
## 企業の共同研究費と研究開発費

大学等が民間企業と共同研究を実施する際、企業から受け入れる研究費の額は1件あたり200万円程度

「企業」が負担する研究開発費（全体の約7割）は、そのほとんどがそのまま「企業」へ



大学等が共同研究の際に民間企業から受け入れる研究費（1件あたり）の推移



出典：科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2014」調査資料-229（平成26年8月）

我が国における負担部門から使用部門への研究開発費の流れ（2012年度）

## 5. オープンイノベーション



企業は自前主義のみの事業運営の限界を意識

- 基礎的学術的な研究の重要性を認識
- パートナーとなり得る大学や研究機関に期待

基礎的な研究のテーマを決める前の段階で、産学の意見交換のような場を

「研究はビジネス。成果にはお金を払う。」



- 研究者でなく組織(大学)の信頼感醸成が必要

橋渡し機能

- 産学をリニアにつなぐのではなく、課題の現場と目標を共有
- 研究・開発・実装を同時進行させながら実現

学・官が「経営意識」を持つ

- 大学や官僚の昇進資格に民間での業務経験
- 産業界の経営人材、政策人材の交流支援



# まとめ

- **イノベーションの創出には、産官学各分野での「経営の革新」が必要**  
⇒大学は、研究のみならず、教育、産学連携、地域経済への貢献においても魅力ある経営に向けた大学再編と経営革新によりグローバルな競争環境で勝ち残る。
- **税金で運営される組織の改革に共通した「本質的な危機感」と「経営の視点」が重要**
- **技術と市場の見える人材の育成を期待**
- **産業界も基礎的学術的研究の重要性を十分に認識して期待**
- **研究はビジネス。企業も良い研究成果にはお金を払う。**